

2008.5.10

世界で活躍する日本の演奏家

## 第3回 内田光子 / 庄司紗矢香 / 大野和士

### プログラム

今回は日本の演奏家特集の第3回として、現在最も活躍が顕著なピアニスト、ヴァイオリニスト、指揮者の3人の演奏をお聴きいただきます。内田光子は今年還暦を迎える、今や世界的なピアニストとしての地位を確立しています。モーツァルト演奏で有名になりましたが、ロマン派からドビュッシー、シェーンベルクまでレパートリーの幅を広げながら素晴らしい演奏を聴かせてくれています。逆に庄司紗矢香は今年25歳という新進気鋭のヴァイオリニストですが、常に完成されている音楽性と全身全霊を注ぎ込む演奏スタイルは、今やヴァイオリン界の宝といっても良いでしょう。大野和士は今年48歳、現在ベルギー王立歌劇場(モネ劇場)の音楽監督、今年9月からはフランス国立リヨン歌劇場の首席指揮者就任が決定、世界各地の著名オーケストラへの客演も多く、今最も華々しく活躍している指揮者です。今日はそれぞれのライブ録音でその魅力を感じ取っていただければ、と思います。

\*\*\*\*\*

**ジュゼッペ・ヴェルティ (1813~1893) :**

**歌劇“シチリア島の夕べの祈り”序曲**

大野和士指揮東京フィルハーモニー管弦楽団

(1994.10.8 ミュンヘン、ガスタイクホールLive ~東京フィルヨーロッパ公演から~)

**フランツ・シューベルト (1797~1828) :**

**ピアノ・ソナタ第18番ト長調“幻想” Op.78~**

第1楽章から、第3楽章、第4楽章から

内田光子 (ピアノ)

(2001.11.1 サントリーホールLive)

**ロベルト・シューマン (1810~1856) :**

**ピアノ協奏曲イ短調 Op.54~ 第1楽章から第3楽章抜粋**

内田光子 (ピアノ)

ベルナルト・ハイティンク指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

(1997.9.28 ウィーン・ムジークフェラインザールLive)

\*\*\* 休憩 \*\*\*

**マックス・フルツフ (1838~1920) :**

**ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調 Op.26~ 第1楽章から第3楽章抜粋**

庄司紗矢香 (ヴァイオリン)

セミヨン・ビシュコフ指揮ケルン放送交響楽団

(2003.6.4 サントリーホールLive)

**アントニン・ドヴォルザーク (1841~1904) :**

**4つのロマンティックな小品 Op.75~**

第1曲“カヴァンティナ” / 第4曲“エレジー”

庄司紗矢香 (ヴァイオリン), イタマール・ゴラン (ピアノ)

(2002.12.16 サントリーホール Live)

**セルゲイ・ラフマニノフ (1873~1943) :**

**交響曲第2番ホ短調 Op.27~ 第1楽章から、第3楽章から、第4楽章**

大野和士指揮北ドイツ放送交響楽団

(2004.5.7 ハンブルク、ムジークハレLive)